

平成30年度 指定管理施設検証結果報告書

PLAN	施設名	甲州市やまと天目山温泉資源活用施設				作成日	令和1年7月4日
	所管課担当名	観光商工課 観光企画・宣伝担当		課長名	中村 賢一	作成者名	市川 太一
	指定管理者	名称	株式会社 栄和交通				
		代表者	代表取締役 原田 孝典				
		所在地	山梨県笛吹市春日居町別田361番地1				
		指定期間	平成26年4月 ~ 平成31年3月				
	管理施設の概要	施設所在地	山梨県甲州市大和町木賊517番地				
		設置目的	温泉資源の活用を通じて、市民福祉と健康の増進を図るとともに、広く一般の休養のための施設として、温泉資源活用施設を設置する。				
		利用者	市民、市民以外	施設管理体制	7名	開館日時間等	10:00 ~ 19:00 (毎週水曜日・年末年始・臨時休館を除く)
	事業概要	サービス提供の内容					
指定管理業務		(1)天目山温泉の利用申請の受付及び利用許可等に関すること。 (2)天目山温泉施設使用料徴収事務に関すること。 (3)天目山温泉施設利用料の徴収事務に関すること。 (4)施設利用にあたってのサービス、指導等に関すること。 (5)その他の日常業務					
	自主事業	(1)自社路線バスの活用(ローカル路線の車内にパンフレットやポスターを掲示) (2)自社ネットワークの活用(県外営業所にパンフレットやポスターを掲示) (3)回数券、ポイントカードなどの「ふろの日」、季節ごとのイベントの企画 (4)景観の改善 (5)付帯設備の充実					
DO	管理運営コスト推移(千円)		平成26年度 (指定期間1年目)	平成27年度 (指定期間2年目)	平成28年度 (指定期間3年目)	平成29年度 (指定期間4年目)	平成30年度 (指定期間5年目)
	予算	指定管理料	6,500	6,000	6,000	6,000	6,000
		利用料金(温泉利用)収入	17,246	17,591	16,200	18,302	18,668
		その他(売店・食堂)収入	17,200	17,544	20,200	21,253	21,618
		管理運営経費	44,247	44,183	41,800	45,474	46,238
	決算	指定管理料	6,500	6,000	6,000	6,000	6,000
		利用料金(温泉利用)収入	16,175	16,323	15,715	15,379	17,002
		その他(売店・食堂)収入	18,163	18,305	17,039	16,193	15,769
		管理運営経費	41,665	39,890	35,927	38,785	40,194
	収支	-827	738	2,827	-1,213	-1,423	
施設の稼働状況		平成26年度 (指定期間1年目)	平成27年度 (指定期間2年目)	平成28年度 (指定期間3年目)	平成29年度 (指定期間4年目)	平成30年度 (指定期間5年目)	
指標	施設利用者数	39,712	40,655	39,423	37,586	36,808	
	活動結果	・自社バス、県内外の営業所を活用し県内外に天目山温泉のPRや、山岳シーズンには臨時バスを出すなど利用者増加の営業努力を行ったが、天候不良などにより利用者数を増やすことが出来ず収入を増やすことが出来なかったため赤字となった。					
CHECK	評価観点	評価 (5 4 3 2 1) 高→低	評価の説明				
	(1)事業の運営	3	・協定書通りに適正に管理運営が行われた。 ・自社ネットワーク、路線バス、県内外の各事業所を使用し宣伝を行った。 ・回数券、ポイントカードなどの自主事業も着実に実行された。				
	(2)施設の維持管理	3	・日常点検、法定点検を着実に実施した。また、定期的にミーティングを行い職員の能力向上に努めている。 ・修繕箇所の把握も適切にされている。				
	(3)収入支出	3	・臨時バスを出すなど努力をしたが利用者数を増やすことが出来ず、収入を増やすことが出来なかった。 ・毎年利用者数が減少している状況である。				
	(4)総合評価	総合評価の説明(施設所管課による一次評価)					
優良 良好 妥当 要改善 不適		妥当	・自社ネットワーク、路線バス、県内外の各事業所を使用した宣伝等で施設のPRを積極的に行っているが、天候不良などにより利用者数を伸ばすことが出来なかった。				
平成30年度評価結果に対する今後の対応							
ACTION	当面の課題	・毎月の天目山温泉の利用者数を増やすこと。					
	課題解決への対応	・同じ指定管理施設である甲斐の国大和自然学校や日川溪谷緑の村などと連携し利用者数増加を図る必要がある。また、平成27年度には40,000人を超えているが現在は4,000人減少している原因の分析を行い、大菩薩の登山客が天目山温泉に立ち寄るようなPR等を行うよう助言していく。					
二次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)							
<p>・仕様書及び協定書のとおり適切に管理運営されている。</p> <p>・日川溪谷緑の村同様、自社ネットワークを活用し積極的にPR活動を実施しているが、施設の利用者数は減少傾向にある。アンケートを実施するなど、利用者分析や業務改善に努めていただきたい。</p> <p>・脱衣所が狭く、登山客は荷物が多いため、荷物スペースを確保するなど、施設利用を改善するなど、利用者サービスの向上に努めていただきたい。</p>							